



T I S 株式会社

第 1 5 期 定時株主総会

2 0 2 3 年 6 月 2 3 日 (金曜日)

目的事項（報告事項・決議事項）

報告事項

1. 第15期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第15期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）計算書類報告の件

決議事項

- 第1号議案 剰余金処分の件
- 第2号議案 取締役9名選任の件
- 第3号議案 監査役1名選任の件

質疑応答

議案の採決

議決権を有する株主数

株 主 数 11,219名

総株主の議決権数

議 決 権 数 242万 7,133個

1. 事業報告等の監査結果

| | |
|-----------------|------|
| 事業報告およびその附属明細書 | → 適法 |
| 取締役の職務の執行 | → 適法 |
| 内部統制システムに関する内容等 | → 相当 |

2. 計算書類およびその附属明細書の監査結果

| | |
|------------------|------|
| 会計監査人の監査の方法および結果 | → 相当 |
|------------------|------|

3. 連結計算書類の監査結果

| | |
|------------------|------|
| 会計監査人の監査の方法および結果 | → 相当 |
|------------------|------|

株主総会参考書類等を電子提供措置により開示

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

開示

① 当社ウェブサイト



② 東京証券取引所ウェブサイト (東証上場会社情報サービス)



第15期 定時株主総会 事業報告

・連結計算書類および当社の計算書類の概要

当社グループを取り巻く環境

日本経済全体

- ウイズコロナの下で、各種政策の効果もあり、持ち直しの動きがみられました。
- 海外景気の下振れによる我が国の景気の下押しリスク、物価上昇、供給面での制約及び金融資本市場の変動等の影響に注視。

情報サービス産業

- D X 技術を活用した業務プロセスやビジネスモデルの変革がグローバルで進展。
- I T 投資需要の更なる増加に期待。

業績 2023年3月期 (当連結会計年度)

1 3 期連続増収・1 2 期連続営業増益。過去最高の業績。

| | 2023年3月期 | 前期比 |
|---------------------|-------------|--------|
| 売上高 | 5,084億00百万円 | 5.4%増 |
| 営業利益 | 623億28百万円 | 13.9%増 |
| 経常利益 | 632億04百万円 | 13.5%増 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 554億61百万円 | 40.5%増 |

セグメント別の状況 2023年3月期 (当連結会計年度)

全セグメントにおいて増収・増益

| | | | 2023年3月期 | 前期比 |
|-------------------|--|------|-------------|--------|
| オフリング サービス |  | 売上高 | 1,117億52百万円 | 8.3%増 |
| | | 営業利益 | 64億26百万円 | 36.9%増 |
| B P M |  | 売上高 | 432億55百万円 | 0.7%増 |
| | | 営業利益 | 51億23百万円 | 2.6%増 |
| 金融 I T |  | 売上高 | 1,011億84百万円 | 10.4%増 |
| | | 営業利益 | 138億96百万円 | 12.5%増 |
| 産業 I T |  | 売上高 | 1,136億32百万円 | 4.5%増 |
| | | 営業利益 | 167億28百万円 | 8.9%増 |
| 広域 I T ソリューション |  | 売上高 | 1,600億10百万円 | 2.4%増 |
| | | 営業利益 | 193億43百万円 | 17.3%増 |

セグメント別の状況 2023年3月期 (当連結会計年度)

全セグメントにおいて増収・増益

| | | | 2023年3月期 | 前期比 |
|-------------------|--|------|-------------|--------|
| オフライン サービス |  | 売上高 | 1,117億52百万円 | 8.3%増 |
| | | 営業利益 | 64億26百万円 | 36.9%増 |
| B P M |  | 売上高 | 432億55百万円 | 0.7%増 |
| | | 営業利益 | 51億23百万円 | 2.6%増 |
| 金融 I T |  | 売上高 | 1,011億84百万円 | 10.4%増 |
| | | 営業利益 | 138億96百万円 | 12.5%増 |
| 産業 I T |  | 売上高 | 1,136億32百万円 | 4.5%増 |
| | | 営業利益 | 167億28百万円 | 8.9%増 |
| 広域 I T ソリューション |  | 売上高 | 1,600億10百万円 | 2.4%増 |
| | | 営業利益 | 193億43百万円 | 17.3%増 |

セグメント別の状況 2023年3月期 (当連結会計年度)

全セグメントにおいて増収・増益

| | | | 2023年3月期 | 前期比 |
|-------------------|--|------|-------------|--------|
| オフリング サービス |  | 売上高 | 1,117億52百万円 | 8.3%増 |
| | | 営業利益 | 64億26百万円 | 36.9%増 |
| B P M |  | 売上高 | 432億55百万円 | 0.7%増 |
| | | 営業利益 | 51億23百万円 | 2.6%増 |
| 金融 I T |  | 売上高 | 1,011億84百万円 | 10.4%増 |
| | | 営業利益 | 138億96百万円 | 12.5%増 |
| 産業 I T |  | 売上高 | 1,136億32百万円 | 4.5%増 |
| | | 営業利益 | 167億28百万円 | 8.9%増 |
| 広域 I T ソリューション |  | 売上高 | 1,600億10百万円 | 2.4%増 |
| | | 営業利益 | 193億43百万円 | 17.3%増 |

セグメント別の状況 2023年3月期 (当連結会計年度)

全セグメントにおいて増収・増益

| | | | 2023年3月期 | 前期比 |
|-------------------|--|------|-------------|--------|
| オフリング サービス |  | 売上高 | 1,117億52百万円 | 8.3%増 |
| | | 営業利益 | 64億26百万円 | 36.9%増 |
| B P M |  | 売上高 | 432億55百万円 | 0.7%増 |
| | | 営業利益 | 51億23百万円 | 2.6%増 |
| 金融 I T |  | 売上高 | 1,011億84百万円 | 10.4%増 |
| | | 営業利益 | 138億96百万円 | 12.5%増 |
| 産業 I T |  | 売上高 | 1,136億32百万円 | 4.5%増 |
| | | 営業利益 | 167億28百万円 | 8.9%増 |
| 広域 I T ソリューション |  | 売上高 | 1,600億10百万円 | 2.4%増 |
| | | 営業利益 | 193億43百万円 | 17.3%増 |

セグメント別の状況 2023年3月期 (当連結会計年度)

全セグメントにおいて増収・増益

| | | | 2023年3月期 | 前期比 |
|-------------------|--|------|-------------|--------|
| オフライン サービス |  | 売上高 | 1,117億52百万円 | 8.3%増 |
| | | 営業利益 | 64億26百万円 | 36.9%増 |
| B P M |  | 売上高 | 432億55百万円 | 0.7%増 |
| | | 営業利益 | 51億23百万円 | 2.6%増 |
| 金融 I T |  | 売上高 | 1,011億84百万円 | 10.4%増 |
| | | 営業利益 | 138億96百万円 | 12.5%増 |
| 産業 I T |  | 売上高 | 1,136億32百万円 | 4.5%増 |
| | | 営業利益 | 167億28百万円 | 8.9%増 |
| 広域 I T ソリューション |  | 売上高 | 1,600億10百万円 | 2.4%増 |
| | | 営業利益 | 193億43百万円 | 17.3%増 |

セグメント別の状況 2023年3月期 (当連結会計年度)

全セグメントにおいて増収・増益

| | | | 2023年3月期 | 前期比 |
|-------------------|--|------|-------------|--------|
| オフリング サービス |  | 売上高 | 1,117億52百万円 | 8.3%増 |
| | | 営業利益 | 64億26百万円 | 36.9%増 |
| B P M |  | 売上高 | 432億55百万円 | 0.7%増 |
| | | 営業利益 | 51億23百万円 | 2.6%増 |
| 金融 I T |  | 売上高 | 1,011億84百万円 | 10.4%増 |
| | | 営業利益 | 138億96百万円 | 12.5%増 |
| 産業 I T |  | 売上高 | 1,136億32百万円 | 4.5%増 |
| | | 営業利益 | 167億28百万円 | 8.9%増 |
| 広域 I T ソリューション |  | 売上高 | 1,600億10百万円 | 2.4%増 |
| | | 営業利益 | 193億43百万円 | 17.3%増 |

セグメント別の状況 2023年3月期 (当連結会計年度)

全セグメントにおいて増収・増益

| | | | 2023年3月期 | 前期比 |
|-------------------|--|------|-------------|--------|
| オフリング サービス |  | 売上高 | 1,117億52百万円 | 8.3%増 |
| | | 営業利益 | 64億26百万円 | 36.9%増 |
| B P M |  | 売上高 | 432億55百万円 | 0.7%増 |
| | | 営業利益 | 51億23百万円 | 2.6%増 |
| 金融 I T |  | 売上高 | 1,011億84百万円 | 10.4%増 |
| | | 営業利益 | 138億96百万円 | 12.5%増 |
| 産業 I T |  | 売上高 | 1,136億32百万円 | 4.5%増 |
| | | 営業利益 | 167億28百万円 | 8.9%増 |
| 広域 I T ソリューション |  | 売上高 | 1,600億10百万円 | 2.4%増 |
| | | 営業利益 | 193億43百万円 | 17.3%増 |

中期経営計画(2021-2023) 重要経営指標

中期経営計画の重要な経営指標を1年前倒しで達成

売上高

指標 **5,000** 億円

実績 **5,084** 億円

営業利益

指標 **580** 億円

実績 **623** 億円

営業利益率

指標 **11.6%**

実績 **12.3%**

株主総会参考書類等を電子提供措置により開示

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

開示

① 当社ウェブサイト



② 東京証券取引所ウェブサイト (東証上場会社情報サービス)



ITで、社会の願い叶えよう。



TIS INTEC Group

<本資料に関するお問い合わせ>

T I S株式会社

企画本部 コーポレートガバナンス推進部

株主総会事務局

E-Mail : cg_promotion@ml.tis.co.jp

<本資料の取り扱いに関して>

本資料は、著作権法および不正競争防止法上の保護を受けております。資料の一部あるいは全部について、TIS株式会社から許諾を得ずに、複写、複製、転記、転載、改変、ノウハウの使用、営業秘密の開示等を行うことは禁じられております。本文記載の社名・製品名・ロゴは各社の商標または登録商標です。

第15期 定時株主総会 事業報告

- ・事業の具体的な内容
- ・対処すべきの課題
- ・今後の取り組み方針

2023年3月期 グループ経営方針

「グループビジョン2026」の達成に向けたセカンドステップとなる中期経営計画を遂行

「Be a Digital Mover 2023」をスローガン

2023年3月期 グループ経営方針

- ①サステナビリティ経営による社会提供価値と企業価値の長期成長戦略推進
- ②DX組織能力・投資の強化による付加価値向上の加速
- ③事業構造転換促進と中長期的な資産・資本効率の向上施策推進
- ④ASEANトップクラスのIT企業連合体を目指した成長戦略推進とガバナンス確立
- ⑤人材の先鋭化・多様化へ向けた人材投資の一層の拡充

2023年3月期 グループ経営方針

①サステナビリティ経営による社会提供価値と企業価値の長期成長戦略推進

事業を通じた社会課題解決を促進すると共に環境・人権・人的資本等の
ESG高度化を促進
本社機能の高度化・効率化による経営基盤の整備は継続的に促進

脱炭素社会の実現に向けた事業活動に伴う温室効果ガス排出量の削減に取り組み

2040年度までに当社グループ自らの温室効果ガス排出量のカーボンニュートラル
2050年度までにバリューチェーン全体の温室効果ガス排出量のネットゼロの実現

主要4データセンターの全使用電力を再生可能エネルギー由来に変更

「MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダース指数」の構成銘柄に初選定

「サステナビリティ経営」に関する今後の取り組み方針

グループ基本理念「OUR PHILOSOPHY」を確固たる軸として、
持続可能な社会への貢献と持続的な企業価値向上の両立を目指す



グループ基本理念「OUR PHILOSOPHY」

【Mission】ムーバーとして、未来の景色に鮮やかな彩りを

コーポレートサステナビリティ基本方針

マテリアリティ（重要課題）

1. 多様な人材が生き生きと活躍する社会を



2. イノベーション・共創を通じ、社会に豊かさを



3. 高品質なサービスを通じ、社会に安全を



4. コーポレートガバナンスを高め、社会から信頼を



事業活動を通じた社会課題の解決

（貢献可能と特定した社会課題）

- ・金融包摂
- ・都市への集中・地方の衰退
- ・低・脱炭素化
- ・健康問題

ステークホルダーとの
価値交換性向上

社会要請に対応した経営高度化

- ・循環型社会への寄与
- ・ステークホルダーエンゲージメントの持続的向上
- ・社会からの信頼を高めるガバナンスの継続的 pursuit

持続可能な社会への貢献

持続的な企業価値向上

2023年3月期 グループ経営方針

② DX組織能力と投資の強化による付加価値向上の加速

中長期な付加価値向上の源泉となる人材、R & D、ソフトウェアへの一層の投資強化
戦略ドメイン伸長を目的としたM & Aを継続的に推進

DXコンサルタントを更に増員し、顧客のDX推進に対する価値提供体制を拡充

データ分析・AIコンサルティング

濠標アナリティクス社と連携強化

デザインコンサルティング・システム

Fixel社を子会社化

「クレジットカードプロセッシングサービス」がサービスイン

「PAYCIERGE」全体のサービスラインナップ拡充

システム運用業務・自社クラウドサービスの中核施設を分割取得

「DX提供価値の向上」に向けた今後の取り組み方針

顧客の現在の業務プロセス改革やインフラ改革、さらにはビジネス自体の革新まで、
当社顧客のDXパートナーとして、継続的に事業の拡大に取り組む

金融包摂

健康問題

低・脱炭素化

都市への集中・地方の衰退

DX提供価値の向上

時と場所の制約を超え、人・モノ・情報を繋ぎ、
ビジネス/プロセス/ITインフラを革新することで新たな価値を創出

ビジネス
革新

業務プロセス
革新

ITインフラ
革新

Technology

UX

Data
Analytics

Agile

Business

IT Delivery
BPO

ステークホルダーとの共創促進

DXコンサルティング機能強化

ITデリバリーの高度化

2023年3月期 グループ経営方針

③事業構造転換の促進と中長期的な資産・資本効率の向上施策推進

構造転換の進捗に伴う経営の安定性向上とそれを踏まえた中長期的な資産・資本効率の向上への取り組みを推進

更なる経営マネジメントの実効性向上を目指す

資本コストを意識した事業マネジメント導入

国内外の企業のM & Aによる事業拡大

グループフォーメーションマネジメント推進

事業ポートフォリオの入れ替えを推進

会計、税務パッケージ（税理士事務所・顧問先企業向け）

日本 I C S 社の全株式取得し連結子会社化

更なる構造転換の推進と実効性向上に向けた取り組み

セグメント区分を変更

各セグメントには、セグメントオーナーを配置

グループ各社の強みを活かした成長戦略の実現を推進

2023年3月期 グループ経営方針

④ASEANトップクラスのIT企業連合体を目指した成長戦略の推進とガバナンス確立

海外事業戦略に基づく出資先との関係強化や共同事業の展開による更なる市場の深耕を図るとともに、グローバルパートナーシップ網を拡充

コンサルティングを新たな軸として追加。
グローバルにおける「コンサルティング + IT」プレイヤーとしての
存在感と組織的な対応力の強化を目指す

持分法適用会社化

Vector Consulting Group (インド/経営コンサルティング)

「グローバル事業の拡大」に向けた今後の取り組み方針

グローバルでITオファリングサービス、フロンティア市場創造ビジネスを拡大

ASEAN・CN・US
+ IN

Channel

ASEANの事業基盤を
構築すべく投資推進

Management Consulting

バリューチェーン拡充による
「コンサルティング+IT」プレイヤーとし
ての存在感と組織的な対応力の強化

X-Tech

世界最先端の領域特化
型技術・サービスを有する
企業へ積極投資

Emerging Tech

中長期視野で破壊的テクノロジーのR&Dを各国で協働推進

グローバル事業の拡大とガバナンスを実現する人材基盤の強化

2023年3月期 グループ経営方針

⑤人材の先鋭化・多様化へ向けた人材投資の一層の拡充

付加価値向上を目指し、報酬や教育投資の向上、キャリア採用を含めた積極的採用活動を継続

先鋭人材の戦略的な確保と育成・人材の最適配置

コンサルティング、グローバル、サービスビジネス等

3つの軸で社員エンゲージメント向上

働く意義

働く環境

報酬

新人事制度導入(報酬・評価・等級制度等の全面刷新)

グループ全体で人材の価値を高めるために積極的な投資を行い、
会社と社員と社会の高付加価値化の善循環を生みだす



当社グループのさらなる成長と企業価値を向上し、
より豊かな社会の実現を目指す

「グループビジョン2026」で掲げる構造転換を加速し、
持続的なステークホルダーとの
価値交換性の向上に努めてまいります。

2026年の企業像

Create Exciting Future

先進技術・ノウハウを駆使し、ビジネスの革新と市場創造を実現する

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

以上の報告を終了致します。

剰余金処分の件

当期期末配当 1株につき

35 円 (当初計画比**3**円増配)

総額 85億 273万7,390円
〈剰余金配当の効力発生日 2023年6月26日〉

※年間配当金 1株につき **50** 円 (前期比**6**円増配)

取締役9名選任の件

**取締役全員（9名）
本定時株主総会終結の時をもって任期満了**

取締役9名選任
（社外取締役3名含む）
（再任7名、新任2名）

取締役9名選任の件

再任



桑野 徹
(くわの とおる)

再任



柳井 城作
(やない じょうさく)

新任



堀口 信一
(ほりぐち しんいち)

取締役9名選任の件

再任



北岡 隆之
(きたおか たかゆき)

新任



疋田 秀三
(ひきだ しゅうぞう)

取締役9名選任の件

再任

独立社外取締役

再任

独立社外取締役

再任

独立社外取締役



佐野 鉦一
(さの こういち)



土屋 文男
(つちや ふみお)



水越 尚子
(みずこし なおこ)

取締役9名選任の件

再任



岡本 安史
(おかもと やすし)

取締役9名選任の件

再任



桑野 徹

再任



岡本 安史

再任



柳井 城作

新任



堀口 信一

再任



北岡 隆之

新任



疋田 秀三

再任



佐野 鉦一

再任



土屋 文男

再任



水越 尚子

独立社外取締役

監査役1名選任の件

監査役 松岡 達文氏
本定時株主総会終結の時をもって辞任により退任

監査役1名選任

監査役1名選任の件

新任



辻本 誠
(つじもと まこと)

質疑応答

- ご発言・ご質問の際は、挙手願います。
- 議長が指名いたしましたら、会場係員の誘導に従い、マイクまで移動ください。
- ご発言の際は、「出席票」の番号を述べて下さい。
※お名前は仰って頂かなくて結構です。
- ご発言・ご質問は、簡潔に、一問にてお願いします。

議案の採決

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 取締役9名選任の件

第3号議案 監査役1名選任の件

議案の採決

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 取締役9名選任の件

第3号議案 監査役1名選任の件

議案の採決

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 取締役9名選任の件

第3号議案 監査役1名選任の件

TIS株式会社

第15期 定時株主総会

閉会

本日はまことにありがとうございました



堀口 信一
(ほりぐち しんいち)



疋田 秀三
(ひきだ しゅうぞう)



辻本 誠
(つじもと まこと)

ITで、社会の願い叶えよう。



TIS INTEC Group

<本資料に関するお問い合わせ>

T I S株式会社

企画本部 コーポレートガバナンス推進部

株主総会事務局

E-Mail : cg_promotion@ml.tis.co.jp

<本資料の取り扱いに関して>

本資料は、著作権法および不正競争防止法上の保護を受けております。資料の一部あるいは全部について、TIS株式会社から許諾を得ずに、複写、複製、転記、転載、改変、ノウハウの使用、営業秘密の開示等を行うことは禁じられております。本文記載の社名・製品名・ロゴは各社の商標または登録商標です。